

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きらきら WHTH YOU		公表日 令和8年1月24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6	・指定基準内のスペースは確保している。	・利用人数によってはやや狭さを感じる部分があるため、安全・安楽に過ごせるスペースの確保にも努めていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・配置基準を定期的に確認し、職員を配置している。 ・丁寧に関われるような職員配置になっている。	・利用者増に合わせて、職員配置の人数も検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・現在はマットの空間、バギーでも過ごせる空間と分けている。 ・ワンフロアのため、備品の収納箇所を工夫して活動場所を広くとれるようにしている。	・利用人数が増えた時は、動線の確保や安全に活動できるよう配慮していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	・湿度・温度の管理、空気清浄機の設置、毎日の清掃を行い、心地よく過ごせる環境を提供している。 ・季節ごと装飾を変えて季節を感じられる空間になっている。 ・こまめに換気も行われている。	・活動に合わせた空間については改善の必要があり。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	・マットで区切り工夫して個別空間を作っている。	・利用人数の増加で難しくなる場合があるため工夫していく必要がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3	・都度職員間で話し合いをすることはできている。 ・定期的な面談もできている。 ・利用開始の際のアセスメント表や支援計画などを確認し、モニタリングや担会の議事録等も確認できるシステムになっている。	・関わる職員全員でのミーティングも今後できたらいいと思う。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		・今年開所しており、保護者の評価表を作成して評価して頂く予定。 ・評価後の意見は業務改善に反映したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・運営会議が開催され、意見等を出し合うことができている。 ・ミーティング等毎日行い、意見交換しやすい環境作りができている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・第三者評価ではないが、運営指導を受けて、業務改善が必要な所は、すみやかに改善している。	第三者による評価の検討は現在行っていないので、検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	4	・定期的に感染や虐待等、社内外の研修が開催され受講している。	・放課後等デイサービスについての研修等は参加できていないため、来年以降で参加したい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・きらきら公式ホームページがあり、支援プログラムが記載されている。	・個々の利用児に合わせたプログラムも検討が必要。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・保護者にしっかりアセスメントを行い、計画を作成できている。 ・個々の発達段階にあわせて、支援内容を作成し、課題を見つけて成長につながるようアプローチしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・個別支援会議にて関わる職員で検討し、共通理解の下に個別支援計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・計画書作成後に一旦、職員間で計画書を確認し、必要であれば計画を修正を行い、再度、職員間で共有し支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・利用開始時にはアセスメントを行っている ・日々の観察の中で変更があった場合は経過記録に記載し、周知している。	・インフォーマルアセスメントは継続し、フォーマルなアセスメントは年1回の定期実施をしています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・利用児の成長や家族環境に合わせ、それぞれの利用児ごとに細かく設定した支援内容を計画している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・利用児の成長や家族環境に合わせ、それぞれの利用児ごとに細かく設定した支援内容を計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・利用児全員で行う活動以外に、各利用児が楽しめるプログラムを提供するよう努めている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	・個別活動については計画と実施ができている。	・集団活動はあまり取り入れられていない。 ・利用児が環境に徐々に慣れていないため、個別状況を確認しながら実践していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・今までの記録や申し送り事項を確認しながら支援前にミーティングを行っている。 ・毎回、役割分担をしっかりと決め、連携した支援が行えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・支援終了時に職員同士で振り返りながら記録の追加修正を行い、申し送り事項を明確にしており、必要時計画の追加修正も行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・個別の記録用紙に記入し、ファイリングを行っている。 ・記録を元に毎日支援前にミーティングを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・定期的なカンファレンス、モニタリングを行っており、その他も適宜計画修正を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2	・日々基本活動に沿って計画し支援を行っている。	・基本活動の中の「地域交流の活動」は十分ではない為、今後の計画の見直しを行い実践していきたい。 ・利用児の障がい特性もあって、主体的に参画できる活動の実施には至っていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	・毎回、利用児に確認し決めてもらうよう心がけている。	・意志の表出に関して個人差があり、自己決定をする力を育てるための支援に今後新たなツール等の活用が必要。
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者と出来る限り直接支援に関わる職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4	・学校の先生や相談支援員と連携をとり、支援に活かしている。	・学校、相談員との連携はとれているが、保健、医療との連携はそこまでないので今後検討していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・担任等と適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	7		・すでに就学後の利用児ばかりのため、左記に挙げる事業所との情報共有や相互理解は未実施である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	・近年で卒業見込みがある利用者に関しては、学校等と連携し、情報共有している。	・まだ対象者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	7		・まだ連携を図ったり、研修を受けることはできていないため、今後機会を作っていくよう検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		・夏場は暑く外出が難しく、気候がよくなり近所の公園へ散歩に行くことはできているが、他の子どもと活動する機会はまだ作れていない。 ・オンライン交流も含め、活動機会の検討が必要であると思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7	・管理者が福岡市地域生活支援協議会には参加している。	・職員の参加はできていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・送迎時、積極的に保護者と話している。 ・モニタリングでも共通理解ができるよう話し合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7		・開所して日が浅く、まだ行うことができていない。今後支援に必要な適切なアドバイスや研修等行っていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・利用契約時に書面にて説明を行い、同意を頂いている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・アセスメント、モニタリング等また日頃の引継ぎ等で本人、保護者の意向は確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・説明し、同意の上でサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	3	・送迎等や電話などで相談、助言を行っている。	・モニタリング等以外での面談の時間までは作ることはできていない。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		・現在、放課後デイサービスにおける父母の会はない。 ・利用児家族が望めば、保護者やきょうだい同士の交流機会を設ける支援を考えたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情受窓口の設置を行っている。	・苦情受付窓口はあるが、保護者が苦情だけではなく、改善点など伝えやすいような体制整備が必要。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	5	・法人HPへの掲載や行事予定などはお便り等で発信している。	定期的な通信は行なえていないので、SNS等も活用し今後検討する。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報の提供に関する同意書、肖像権、プライバシーに関する同意書は書面にて説明し、同意を得ている。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		絵カード等を使用し、本人の意思を引き出せるように配慮している。 また、保護者との情報伝達に関しては送迎時や連絡ツールを使用した細目な情報共有に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・今年度より、年に1回施設のお祭りを再開。地域住民の方の参加等も行っている。	・今後、地域のイベントへの参加なども視野に入れ検討していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4	・各種マニュアル等の作成策定はできている。研修、訓練等は行っている。	・まだ全ての内容を網羅した研修、訓練等の実施ができていない部分があるので、今後、マニュアルの整理と改善、周知の部分での改善が必要。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	4	・BCPの策定はしており、研修、訓練等の実施はしている。	・まだあらゆる状況を設定した研修、訓練の実施にできていない部分があるので改善が必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		・利用契約時のアセスメントにて、必ずチェックを行っている。 ・服薬変更など保護者と情報共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・利用契約時のアセスメントにて、必ずチェックを行っている。	・今現在、食物アレルギーの利用児はいないが、対応できるように準備は必要。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・職員研修を定期的に行っている。 ・事故・ヒヤリハットをスタッフ間で共有し、再発防止に繋げるよう心がけている。	・安全計画に基づいての研修、訓練に改善が必要。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	・利用契約時に一部説明を行っている。	・安全計画に基づいての取り組み、周知には改善が必要。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・スタッフ間で共有、意見を取り入れながら再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	・職員研修を定期的に行っている。 ・虐待防止委員会を設置している。	・都度の見直し、改善、振返りが必要。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	・個別支援計画書に記載しており、説明を行っている。 ・身体拘束に該当しそうな場合は、保護者に確認をとってから行っている。	・都度の見直し、改善、振返りが必要。